

令和2年度 「年度末学校関係者評価」(外部評価)

	項目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見 (外部評価者からの指摘を基に記載)
教育環境の 充実	① 学校安全の推進	<p>①新型コロナウイルス対応として、1日2回の教室消毒・換気の実施・机の間隔確保などのきめ細かな対応と、併せて行事を実施する場合には様々な工夫での安全対策が行われている。その結果、生徒アンケート項目⑩で60%以上、保護者アンケート項目⑰では50%以上の、コロナ禍にあっても一定の肯定的評価があったと思う。コロナ終息まで大変と思うが、頑張ってもらいたい。</p> <p>コロナ禍でなかなか防災訓練が実施できなかったが、生徒の意識を高めることができたのは大きな成果である。まず「自助」が第一なので「自分の身は自分で守る」という意識づけができたことは良かった。</p> <p>③幼保小中地域合同の避難訓練の実現と津波を想定した高台への避難訓練を実現したい。</p>
	②教育情報化の推進	
	③地域との協働推進	
	④学校評価を生かした学校づくり	
I 学習指導の 充実	① 授業改善の推進	<p>①授業改善の推進については、授業研究を通して授業改善と指導方法の工夫を行い普段の授業に活かした結果、保護者アンケート項目⑦で50%を少し下回る肯定的評価だったが、生徒アンケート項目⑧では、80%以上の肯定的評価を得ている。教職員の努力が生徒に伝わっていると考えられるが、保護者は結果も求めていると思われるので、引き続き授業改善を推進してほしい。</p> <p>新学習指導要領に沿った指導法の研究が深められたのは、先生方にとって収穫である。「主体的・対話的で深い学び」についての指導法は多岐多様なので、これと言った指標がないので不安に感じている教員も多いと思う。今年度のように研究講師を招聘し、指導を仰ぐことができたことは、特に若手教員にとって心強いもので、ぜひ小中連携にて共有させていただきたいところである。</p> <p>GIGA スクール構想では、今後どのように ICT 機器の活用を図っていくか、実践事例の積み重ねが要です。ICT の活用を進めながら、文字を書く本を読む必要性の指導をしてほしい。</p> <p>先生方は真摯に授業をしている。授業を受ける生徒の態度も良い。</p>
	②健康体力づくりの推進	
	③体験活動の充実	
	④今日的課題への取組	
II 支援の充実	① 支援環境の充実	<p>①支援教室や教育相談コーディネーターを活かした取組を行い、生徒アンケート項目⑤では80%に迫る肯定的評価が、生徒アンケート項目⑥及び保護者アンケート項目⑤共に70%以上の肯定的評価をしている。</p> <p>これらのことから、生徒・保護者共に高評価を得られていると思う。今後もなおいっそうの支援の充実を期待する。</p> <p>年々、課題を抱える児童生徒が増えてきてどの小・中学校も支援に奔走しているのが現状である。支援については「これだけやれば万全」というものはないので、まずは校内支援体制の整備と充実が急務である。並行して個に応じたきめ細やかな指導を行っていかねばならない。現実的には、これだけ多くの課題を持つ生徒がいる中で一人ひとり丁寧に支援していくには学校としての限界を感じる。</p> <p>④幼保小中地域との連携でより一層協力体制を整え、課題を抱える生徒と向き合っていく。部活動などを通して生徒と交流していきたい。</p>
	②安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	
	③問題行動対策・不登校対策の推進	
	④幼・保・小及び小・中の連携推進	

<p>Ⅲ 学校組織の 充実</p>	①学校・学年・学級経営の充実	<p>①校内研究で研修会や授業研究を行い、日常的には OJT により若手や経験の浅い教員の支援を組織的に取り組んでいる。これらの取り組みから、生徒アンケート項目①では全体で85%以上（1年生では90%以上）の肯定的評価を得ていると思われる。高いレベルで成果が現れているので、今後も組織的・継続的に取り組んでほしい。</p> <p>今年度はコロナ禍のため、多くの研修会が中止となり、机上研修となった。そのため、新任教員や経験の浅い教員の育成が滞ってしまう危惧があったが、管理職やベテラン教員が中心となって OJT が実施できたのは良かった。若手教員が研究会や校務分掌の中で能動的に参画することができれば組織の充実はさらに向上する。ベテランや一部の発言力のある教員の一言で全てが決まってしまうと組織は停滞または後退してしまう。</p> <p>④働き方改革の観点から、部活をしたい生徒のニーズに応え、専門知識を持った保護者・地域住民が積極的にお手伝いできる雰囲気作りをしていきたい。保護者・地域との交流も OJT のひとつの方法と考える。</p>
	②研究・研修の充実	
	③信頼に基づいた指導の推進	
	④働き方改革の推進	